

한통련 뉴스레터

제95호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●尹大統領「戒厳令宣布」～国会「解除可決」…国民的退陣闘争の高揚必至、尹錫悦の終わりの始まり



戒厳令を宣布する尹錫悦大統領



国会に突入しようとする戒厳軍と阻止する議員補佐官ら

尹大統領「戒厳令宣布」～国会「解除可決」

尹錫悦 (ユン・ソンニョル) 大統領は12月3日夜、非常戒厳令を宣布した。尹大統領は緊急談話を発表し、「従北勢力を撲滅し、自由憲政秩序を守るため非常戒厳令を宣布する」と述べた。また、国会で多数を握る野党が来年度の予算案の削除を求め、閣僚や検事の弾劾訴追案を提出して国政をまひさせたとし、「今の国会は犯罪者集団の巣窟になり、立法独裁で国の司法行政システムをまひさせ、自由民主主義体制の転覆を図っている」と断じた。

韓国で非常戒厳令が宣布されるのは1979年以来、45年ぶりとなる。

非常戒厳令の宣布により、戒厳司令官に朴安洙 (パク・アンス) 陸軍参謀総長が任命され、政治活動の禁止などを盛り込んだ布告令が発表された。

戒厳軍は統制・封鎖のために国会に入ろうとし、抵抗する国会議員の補佐官らとの衝突が起きた。

国会 (定数300) は4日午前0時50分ごろに本会議を開き、非常戒厳令の解除要求決議案を上程。同1時ごろに在籍議員190人、賛成190人で可決した。与党「国民の力」の韓東勳 (ハン・ドンフン) 代表に近い議員18人と野党議員172人が賛成した。

国会は午前2時ごろ、大統領と国防部長官に戒厳令解除要求通知を送った。

韓国の憲法第77条は「国会が在籍議員過半数の賛成で戒厳の解除を要求した際、大統領はこれを解除しなければならない」と定めている。戒厳法第11条は「国会が戒厳の解除を要求した場合は滞りなく戒厳を解除し、公告しなければならない」とし、「大統領が戒厳を解除する場合は閣議の審議を経なければならない」と規定している。

韓代表は、国会が非常戒厳令の解除要求

案を可決したことについて、「国会の決定により、違憲・違法な戒厳令は効力を喪失した」と述べた。

第1野党「共に民主党」の李在明（イ・ジェミョン）代表は、閣議決定も経ていない非常戒厳令は手続き上も明白に違法であり、憲法にも反していると指摘。「戒厳令宣言に基づく大統領のすべての命令は違憲、無効、違法」と強調した。

尹大統領は4日早朝、宣布してから約6時間を経て非常戒厳令宣布を解除した。

尹大統領は談話で、「前日11時をもって、国家の本質的機能をまひさせ、自由民主主義の憲政秩序を崩壊させようとする反国家勢力に対抗し、決然とした救国の意志で非常戒厳令を宣布した」とした上で、「しかし、国会の戒厳解除の要求があり、戒厳事務に投入した軍を撤収させた」と述べた。

政府は尹大統領の談話発表以後、閣議を開き、「戒厳令解除案」を決定した。

共に民主党は国会で緊急議員総会を開いた後、決議文を発表、尹大統領に対し即刻辞任（退陣）するよう求め、辞任しなければ弾劾を進めるとの立場を示した。

韓代表は国会で記者団に対し、尹大統領が状況を詳細に説明し、戒厳令を建議した金龍頭（キム・ヨンヒョン）国防部長官を即時解任するなど関係者の責任を問うよう求めた。

大統領室では室長、首席秘書官が一斉に辞意を表明した。

6野党、弾劾訴追案を提出

共に民主党と祖国革新党、革新党、進歩党、基本所得党、社会民主党の6野党は4日午後、尹大統領の弾劾訴追案を国会に提出した。野党は戒厳令宣布が「憲法や法律に明白に違反する」と主張。弾劾訴追案の発議には、国民の力を除く国会議員191人全員が参加した。

共に民主党などは5日の国会本会議で弾劾訴追案を報告し、6～7日に採決する計画。弾劾訴追案の可決には国会の在籍議員300人のうち3分の2以上の賛成が必要。韓代表は5日、弾劾訴追案に反対の党

方針を示した。

広がる退陣要求の声

3日夜の非常戒厳令宣布の直後から国会前には市民が結集し、戒厳令宣布に抗議し野党を応援した。4日からは全国の主要都市で尹政権の退陣を求める集会が相次いで開かれている。民主労総は退陣まで無期限ストを展開すると発表した。7日にはソウル光化門で退陣要求3次総決起が開催される。

尹錫悦の終わりが始まった

尹大統領は戒厳令宣布の理由について、「共に民主党の立法独裁」「従北反国家勢力の撲滅」「自由憲政秩序の守護」をあげた。しかし、こうした主張に共感し支持する国民がどれだけいるだろうか。4月総選挙で厳しく審判されても、無能無責任・独断専横・民生破たん・民主主義否定・平和破壊・対米従属・対日屈従・対北対決を平然と続け、ついには支持率20%を切る大統領の声に耳を傾ける者はほとんどいない。

尹大統領は「体制転覆を図る反国家勢力の蠢動」を非難した。しかし、「体制転覆を図る反国家勢力」は内乱を企図した尹大統領自身であり、これは弾劾訴追の要件となるものだ。また、「自由憲政秩序の守護」について言えば、憲政秩序を破壊してきたのは拒否権行使を乱発した尹大統領自身だ。

金国防長官の建議を受けた尹大統領は大統領室とも協議せず閣議にもかけず、ほぼ独断で戒厳令宣布を決定した。結果、与党代表らは反旗を翻し、大統領室の高官は辞意を表明するに至った。尹大統領はすでに正常な判断ができず、側近にも見放され、国政運営どころではないと判断せざるを得ない。

国会は国民の支持に応じて、戒厳令宣布という尹大統領の独断と専横の極致から民主主義の危機を救った。連綿と続いてきた韓国民主化運動の成果が民主共和国の基盤となり、戒厳令を許さない状況をつくり出したと評価してよいだろう。



尹錫悦政権退陣を要求する「全国民非常行動」（4日、ソウル）

尹錫悦政権退陣運動本部をはじめとする市民社会団体および野党と弾劾国会議員連帯による院内外にわたる反尹戦線の構築、

総決起をはじめとする退陣広場の広がり、そして退陣国民投票の展開や各界の時局宣言の発表などが相乗効果を生み、尹大統領を追い詰めてきたのは事実である。窮地に陥った尹大統領はなりふりかまわず戒厳令宣布という強硬手段に及んだ。

今回の戒厳令宣布の暴挙に国民は心底激怒し、全国で退陣要求の声が渦巻いている。尹大統領に期待するものは何もない。3次総決起は、いままでにはない退陣要求の大きなうねりをつくり出し、尹錫悦をさらに追い込んでいくのは間違いない。国民に勝てる政権はない。尹錫悦の終わりが本格的に始まった。

声明－内乱首魁尹錫悦(ユン・ソンニョル)は今すぐ退陣しろ！

12月3日午後10時25分、尹錫悦が非常戒厳令を宣布した。政権与党にすら通達していない、誰も予想できない事態だった。戒厳司令部が戒厳司令部布告を発表し、戒厳軍が国家を統制することを宣告した。45年ぶりの非常戒厳令によって光州民衆抗争のような悲劇が再現される最悪の事態まで考えられた。

しかし1987年までに多くの犠牲を払って民主化を勝ち取った市民は、汝矣島国会前に結集し非常戒厳令に決死で抵抗した。妨害する警察を押し留め議員に国会の扉を越えさせ、国会に侵入する軍人を撮影してさらなる結集を呼び掛け、声を上げて非常戒厳令に反対した。野党も迅速に対応し、解除要求決議案を可決することで非常戒厳令を無効化した。市民と野党の抵抗により、結局尹錫悦はたった6時間で非常戒厳令を解除せざるを得なくなった。国会議事堂の施設が破損したものの市民の血が流れる事態にはならなかった。

今回の事態は尹錫悦の独断と専横、無能・無責任を満天下に晒した。尹錫悦は戒厳宣布会見の中で「野党が国政を麻痺させ、自由大韓民国の憲政秩序を踏みにじり、内乱を企てる明白な反国家行為を行っている」と述べた。しかし現実には尹錫悦が起こした事態こそが国政を麻痺させ、憲政秩序を踏みにじった内乱であり反国家行為であった。警察を動員して議員を国会に入れないようにさせ、軍を動員して国会議事堂の制圧を試みたことは明白な違法行為、内乱罪である。そもそも今回の非常戒厳令宣布自体が法的な手続きを踏んでいない違法・違憲行為であり、憲法が規定した戒厳理由にも該当していない。

また戒厳司令部が出した布告令では「国会と地方議会、政党活動、集会デモなど一切の政治活動を禁じる」「自由民主主義体制を否定したり転覆を企てる行為やフェイクニュース、世論操作を禁じる」としたが、これらは「自由大韓民国」という尹錫悦個人の思想で国家を支配しようとする、民主主義から最も遠く最も下劣な行為と言う他ない。主権者たる国民に牙をむき、違法な非常戒厳令に従った軍や警察も今後厳しく処罰されるだろう。

「反国家勢力を撲滅する」と謳った尹錫悦はこの日、内乱首魁という文字通りの反国家勢力へと転落した。韓国現代史はこの日を「史上最も愚かな為政者が史上最も愚かな判断を

した日」と記憶するだろう。今回の事態によって国内の弾劾要求はますます高まり、退陣のその日まで全国各地でデモが止むことはないだろう。クーデターに失敗した尹錫悦に残された道は退陣しかない。私たち在日韓国青年同盟は国内の尹錫悦退陣運動と連帯し、日本の地から政権退陣の声を高くあげ尹錫悦退陣のために全力を尽くす。

2024年12月4日
在日韓国青年同盟

緊急立場表明「違憲の非常戒厳令を糾弾！ 国民主権の実現！ 内乱の尹錫悦を罷免！」

尹錫悦大統領が昨夜、突然に非常戒厳令を宣布した。決然とした救国意志で戒厳令を宣布したと明らかにした。今日の大韓民国がどのような戦時、事変、国家非常事態なのか！ 戦時・事変またはこれに準ずる国家非常事態に相当しない状況で、宣布された非常戒厳令はそれ自体が違憲であり違法で無効だ。

特に、国会が12月4日深夜1時ごろ非常戒厳令解除要求決議案を可決したことにより、尹錫悦大統領の非常戒厳令宣布は憲法によりその効力を喪失した。

憲法違反の被疑者、尹錫悦を今すぐ罷免しろ！

尹錫悦大統領は軍隊を動員し民主主義の殿堂である国会を侵奪し、国会議員の出入りと議事進行を妨害しようとした。国憲びん乱の目的の下、成し遂げられた暴動で明白な内乱だ。また、戒厳令を宣布し、結社・集会・示威の政治活動の禁止、メディア活動・出版の禁止など市民の基本権をじゅうりんし、憲法破壊行為を犯した。これもまた違憲違法である。

反憲法的な戒厳令に同調した「国民の力」議員も責任を免れることはできない！

また、尹錫悦の違憲的な非常戒厳令は、国会本会議で非常戒厳令解除要求決議案が190人の賛成により可決され解除された。しかし国民の力の多数の議員は党本部に集まっていたが、本会議に参加しなかった。反憲法的な戒厳令、内乱罪の尹錫悦に同調したのである。これらも責任を免れることはできない。

国民の生命と安全を守らなければならない大統領が国民に銃を向けた。国民はこれ以上、彼を大統領と認めることができない。

彼が最後まで大統領職に固執すれば、国民は憲法が規定する国民主権を実現するために、全面的な抵抗運動に乗り出すことを宣布する。

国会の解除議決で戒厳令の実質的効力は喪失した。したがって、戒厳令が違憲・違法なのに、戒厳令により軍・警が公権力を行使するのは、違憲・違法だと明確にしておく。

内乱罪の被疑者、不法大統領の尹錫悦に立ち向かい、わたしたちは国民主権を実現するために全面的な抵抗運動に突入するだろう。

2024年12月4日
尹錫悦政権退陣運動本部

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の動画を韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。



韓統連ホームページ



韓統連YouTubeチャンネル

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIGrXfqiQ

행사예정 行事予定

12月

韓国尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権は退陣しろ！鶴橋連帯アクション(大阪)

日時：12月7日(土)午後5時開始 場所：JR鶴橋駅前 内容：街頭アピール(尹政権の戒厳令宣布糾弾、退陣要求) 主催：大阪本部 連絡先：090-3822-5723(崔)

第18回韓統連愛知セミナー(愛知)

日時：12月8日(日)午後1時半開場、2時開会 場所：名古屋市市民会館 内容：「韓国民主・統一勢力が目指す未来とは」(講師：康宗憲(カン・ジョンホン)韓国問題研究所代表) 参加費：1000円(学生500円) 主催：愛知本部 連絡先：090-3930-8815(金)

情勢講演会(神奈川)

日時：12月14日(土)午後5時30分開始 場所：ミュージア川崎 会議室1 内容：情勢講演(講師：金昌五(キム・チャンオ)副委員長) 主催：神奈川本部 連絡先：090-1049-4261(文)

第3回韓統連セミナー2024(大阪)

日時：12月15日(日)午後1時半開場、2時開会 場所：いくのパーク 内容：「激動する朝鮮半島情勢のゆくえ～民衆勝利、平和・統一にむけた課題」(講師：金昌五(キム・チャンオ)副委員長) 参加費：800円(青年学生500円) 主催：大阪本部 連絡先：090-3822-5723(崔)

編集後記

窮地に追い込まれた尹錫悦大統領が戒厳令を宣布し、韓国社会は危機的な状況に陥りました。これまで培ってきた民主化運動の成果を保身のために破壊しようとした尹錫悦を、決して許すことはできません。1日も早く退陣させましょう(李)